

次世代を担うものたちの 健やかな成長を願って

松原ネット花見（福岡県）

緑と子どもを守ることが
未来への贈りものです

「私たちが子どもどものころは、この花見松原でよく遊んだものです。木登りをしたり、きのこをとったり。そのときの明るい風景をもう一度取り戻したいと思い、会を発足しました」

松原保全ボランティア団体「松原ネット花見」を立ち上げた湯浅健二さんはそう話します。北九州玄界灘沿岸のなかでも、代表的な松原といわれる花見松原ですが、会が活動をはじめのまで、あまり手入れもされず、治安の面でも多くの不安を抱えていました。

結成されたばかりの会がまず取り組んだのは清掃活動。松葉掻き、枯れ枝除去といった地道な作業をコツコツと続けてきました。それから三年メンバーの努力が実り、花見松原は見ちがえるほど美しい風景を取り戻したそうです。

活動を行うメンバーの澁刺とした笑顔に誘われて「私も仲間に入れてください」と参加する人も多く二〇名程度でスタートした会は七〇名を数えるまでに。おそろいのジャンパーや帽子（児童へのパトロール



ますます盛んになってきた植樹活動



松原を定期的に手入れし、豊かな緑を守っています



左上：古賀市制 10 周年記念パレードにも参加。活動をアピールしました

左中：子ども駅伝大会を通して緑の大切さを伝えました



左下：子どもたちの安全を守る登下校指導



を目的とした見守り隊のみ)もそろえ、真面目な取り組みのなかにも、和気藹々としたあたたかさがあふれる会に成長しました。清掃や保守作業の腕前もはやプロ並みです、と湯浅さんは笑います。

活動のもう一つの柱となっているのが、子どもへの環境教育。楽しみながら自然の魅力を知ることができ

る「子ども駅伝大会」「子どもチャレンジ教室」を開催したり、植樹活動をしたりと、緑の学習に力を入れていきます。

「とくに植林活動は、子どもにとって大きな思い出となります。それが生まれ育った郷土への愛にもつながるはず。そして、人生の節目で自分が植えた木を見にきてほしい。

木の一本一本には、緑とともに成長してほしいという私たちの願いが込められているんです」

と湯浅さん。会を運営するなかで、子どもも緑も、未来を担う大切な財産だと実感した、と続けます。その気持ちはメンバー共通の思いでもあり、松原ネット花見は自主的に学童への登下校指導を開始。見守り隊と

して信号付近などに立ち、子どもたちに声をかけながら、安全を守っています。メンバーと子どもたちとの間には、世代をこえた交流の輪が広がっているようです。

花見松原を守りたいという思いが人々を結びつけ、緑への思いが子どもの成長を見守るやさしい眼差しへとつながっています。

〒 811-3111
 福岡県古賀市花見南 1 4 1
 ☎ 092-942-6651
<http://homepage3.nifty.com/mumyo-kojin/index.html>